

### 目標達成計画

作成日: 平成 24 年 12 月 20 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	好みのものを食べに出かけるなど食事を楽しむ機会が少ない。	食事が楽しみなものになるよう計画をたて実施していく。	・ご利用者様の好みにあわせた外食レクを計画する。 ・オヤツレク以外にも昼食を一緒に作る日を計画する。	12ヶ月
2	2	年に数回行事での地域の方々との交流はあるが、まだまだ施設の認知度が低いため、日常的な交流が出来ていない。	少しでも多くの地域の方々には施設のことを知ってもらい、地域の方々との交流できる機会を増やしていく。	・近隣の喫茶店等へ行き、近隣の方々との交流する機会をもつ。 ・参加可能な自治会の行事等に参加させてもらう。	12ヶ月
3	35	年2回の消防訓練は実施している。今後は地震や水害などを想定した応援体制や不測の時態に備え準備を進めて行く必要がある。	火災だけではなく、地震や水害なども想定した災害対策を行なっていく。	・非常用の備蓄品を準備する。 ・災害マニュアルの定期的な見直しを行う。 ・災害時全職員が避難誘導する方法を身につける。 ・自治会長、民生委員の方々にご協力頂き施設内の消防訓練等に地域の方にも参加してもらえるよう働きかけていく。	12ヶ月
4	33	重度化した場合や終末期の対応について状態に応じて個別での話し合いはさせてもらっているが、施設としての方針や方向性がしっかりと定まっていない。	重度化した場合や終末期の対応について施設の方針や方向性を定める。	・協力病院、主治医との話し合いを持ち、今後の施設の方針や方向性を考えていく。 ・方針が定めれば文書化し、契約時や早い段階でご本人及びご家族と話し合いを行い、施設としての方針を共有していく。 ・職員全員が方針を理解し支援できるよう研修を行う。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。